

令和元年度 第1回御殿場市子ども・子育て会議議事概要

- 1 日時 令和元年8月30日(金)午後1時30分から午後3時30分
 - 2 会場 本庁舎3階大会議室
 - 3 出席者 本崎肇委員(会長)、勝又清子委員(副会長)、勝間田浩茂委員、天野晶子委員、中川未知委員、百々由美委員、砂山絵美委員、井上郁子委員、山口高弘委員、勝又秀文委員、岩田眞宗委員、山内陽子委員
計12人
 - 4 欠席者 吉田公美子委員、永井しづか委員、山崎たつ子委員
計 3人
 - 5 事務局 計10人
 - 6 会議の内容
 - (1)開会
 - (2)委嘱状交付
 - (3)あいさつ(会長)
 - (4)協議事項
 - 議題 第二期御殿場市子ども・子育て支援事業計画について
- <議題に対する質疑応答>
- 委員：資料1-4の9頁にある子育て短期支援事業の利用が何もないのはどういうことか。
- 事務局：御殿場市内に対象施設がないため、このショートステイ事業については実績がない。
- 委員：需要を含めて、今後、施設をつくる可能性はあるのか。
- 事務局：ショートステイは親が病気になった時などに短期で利用するサービス施設である。現在は、このような需要に県の児童相談所の一時保護などで対応しており、今後、市で実施するのかは検討中である。このため計画値は0となっている。
- 委員：資料1-4の16頁にある療育支援訪問事業の20人はどこからきた数値か。
- 事務局：第一期計画では50人を想定したが、他市の状況や利用者との関係、育児不安のある子どもさんや実際に赤ちゃん訪問などで育児的に問題がある方の状況を考えて20人となった。保健センターや子育て支援課でフォローが必要になった方の平均である。
- 委員：資料1-4の3、4頁にある1号認定、2号認定について、どちらも認定こども園と幼稚園が対象となっているが、幼稚園のなかに2号認定のお子さんがいるということか。
- 事務局：幼稚園を利用している方の中にも、保育の必要がある2号認定を受けている方がいるということである。働きながら幼稚園を利用している方が一定数いるというこ

とになる。80名程度であるが国算出値の結果にもでている。

委員：長時間保育認定を受けられるが幼稚園を利用しているということか。

事務局：見込みのとおり。公立の幼稚園では難しいが私立では長時間預かりも可能となっている。

会長：他に質疑や意見がないようなので、協議事項に対する意見はここまでとする。

(5) 報告事項

議題 第一期御殿場市子ども・子育て支援事業計画の実施状況報告について

<議題に対する質疑応答>

質疑応答なし

(6) その他

議題 幼児教育・保育無償化について

<議題に対する質疑応答>

質疑応答なし

事務局：第2回の御殿場市子ども・子育て会議は10月28日(月)に開催を予定している。

(7) 閉会